

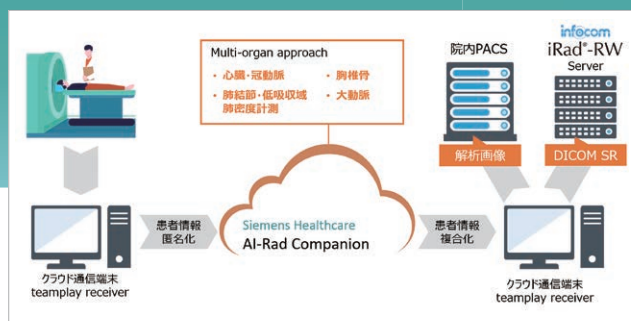
インフォコム

<https://service.infocom.co.jp/healthcare/irad/>

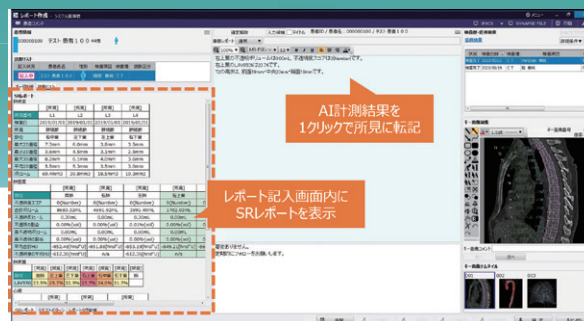
Information SystemからIntelligence Systemへ

[主な紹介製品]

- 放射線情報システム「iRad-RS」
- 放射線レポートシステム「iRad-RW」
- 放射線治療システム「iRad-RT」
- 放射線治療ビューア「RT Image Viewer」
- 検像システム「iRad-QA」
- 整形外科画像システム「iRad-OT」



「システム連携例」



「iRad-RW レポート記入画面」

国際医用画像総合展2024では、シーメンスヘルスケアの画像診断支援AIソフトウェア「AI-Rad Companion (AIRC)」とレポートシステム「iRad-RW」を連携させた、伊勢崎市民病院様での実際の運用例を展示する。「AIRC」から出力された計測結果(DICOM SRデータ)は「iRad-RW」のレポート記入画面のSR表示アイコンに表示される。また、これらの情報をレポート本文に自然文として置換する機能も実装しており、AIから出力されたデータの活用が可能である。

また、検像システム「iRad-QA」にもAI技術を応用した機能を参考展示する。

これから医療分野でもさらに活用が期待されるAI技術により、放射線部門の作業負担の軽減や効率化をシステムの面から支援する。

放射線情報システム「iRad-RS」

業務の安全・安心をサポートする機能として、受付時の検査間禁則チェックや検査実施時の様々な条件チェックが可能である。検査時の確認ミスや実施入力時の入力間違い、入力漏れを防止する。

線量管理機能では、線量データと検査実績情報を統合的に管理。ヒストグラム、箱ひげ図、散布図等の表示も可

能となり、線量最適化のための分析に活用できる。

放射線レポートシステム「iRad-RW」

画像診断管理加算2および3の施設基準を満たすための指標として、該当検査の最新の読影率、必要な読影件数および読影に必要な時間の目安がリアルタイムで表示される。さらに、診療報酬算定に該当する検査が未読影の場合、未読フラグが表示され、読影の優先度を判断することが可能である。

また、読影時間のヒストグラム表示により、読影業務の振り返りツールとしても使用することができる。